

再エネ推進の先進都市から学ぶ

7月26日(土)

会場：生涯学習センター第2学習室
時間：13:30～16:30 (参加無料)



環境エネルギー政策研究所理事
松原弘直さん

主なプログラム

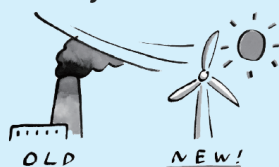
- 気候危機の現状と課題
- 再エネ推進の先進事例から学ぶ
- 質疑応答・討論など

気候ネットワーク東京事務所長
桃井貴子さん



- 千葉県出身。環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 主席研究員/工学博士
- 持続可能なエネルギー社会の実現に取り組む研究者・コンサルタントとして活躍。
- 自然エネルギー普及のため市民出資事業や地域主導型のエネルギー事業の支援などにも取り組んでいる。

GO! NEW ENERGY
Good bye! OLD ENERGY



- 学生時代からオゾン層保護や地球温暖化問題に取り組み、2008年よりNPO法人気候ネットワークのスタッフとなる。現在、同NPOの東京事務所所長。
- 持続可能な社会をめざし、地域・国・企業などへの政策提言活動や市民への普及啓発活動を行っている。

横須賀版「シュタットベルケ」を

ドイツでは約900のシュタットベルケ（自治体が出資する公共サービス事業者）が存在し、電力などのエネルギー事業を中心に公益事業として市民生活に密着したサービスを提供していると言われます。

日本でも先進都市ではドイツと同じではありませんが、自治体や地域の事業者が多様な形で協力して再エネ事業に取り組み、地域内でお金が循環する地域経済、地域課題解決に役割を果たしています。そのような先進事例を学び、横須賀でも実現しましょう。みなさんのご参加をお願いいたします。

気候危機対策は待ったなし

「地球温暖化」による気候危機対策は待ったなしです。大量に排出されるCO2を減らすには、再エネを増やし、化石燃料からの脱却が急がれます。

日本政府は第7次エネルギー基本計画で原発と石炭を維持するという真逆の方針です。しかし、地域では自治の力で再エネ事業に取り組んでいるところが多くあります。気候危機の現状をしっかりと確認するとともに今後の課題について一緒に考えましょう。



主催：エネルギー問題を考える横須賀の会

(旧横須賀火力発電所建設を考える会)

連絡先 横須賀市津久井5-17-6 鈴木陸郎 046-847-3253



(FB)



(HP)

生涯学習センター

